

みんなの広場



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したもの。

(題字は千葉理事長)



今日もおつかれさま! かんば~い♪ ~お散歩途中のおやつタイムの1コマ~

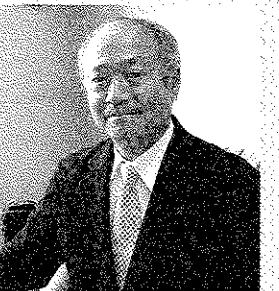
みたけ学園児童デイサービスセンター「ぽけっと」では、人との関わりや集団生活への参加が苦手な子どもや、発達の遅れが気になる子どもたちに対し、一人ひとりの特性に応じた、遊びや運動などを取り入れたプログラムを提供しながら、日常生活の基本的動作や集団生活への適応力を育む支援を行っています。

主な 内 容

- 理事長ごあいさつ、基本理念・基本方針 2
- シリーズ「続・精神障がい者への支援」
相談支援センターさくら、好地荘 3
- 必要なサービスお届けします
みたけの園、こぶし 4
- 特集 障がい児の在宅支援
～たばしね学園・みたけ学園～ 5
- 平成21年度決算報告 6、7
- 事務局長・新施設長等、
新採用職員の紹介 8

卷之三

自立への取り組みの 成果と今後の展望(



岩手県社会福祉事業団
理事長 千葉 弘

新年度が始まりましたが、今年は当事業団が平成18年4月に民営化、自主経営の歩みを始めて5年目に当たり、自立化計画（27年度までの10か年）の折り返しの年になります。

的廃止)を受けて否応なく「自主・自立」を求められたのであります。が、当事業団が将来にわたって存続し、県民福祉の向上のために引き続き大きな役割を果たしていくためには、経営面において基本的な経常経費については措置費及び支援費等で賄える体制にすること、すなわち、「自立した経営基盤」の確立が必須であります。

そのため、経常経費の大宗を占める人件費の圧縮が避けられず、平成18年に職員給与等の減額改定と併せて職員数の削減計画をスタートさせたところであります。

これらの給与費と職員配置の見直しは、職員の皆さんとの理解と協力のもとに実施してきたところでありますが、これ

「自立経営」は、21年度末で民営化前の17年度に比べて約9億8千万円縮減さるところまできました。今後、現在の計画を着実に実行していくことにより、「自立経営」の実現が見えるところまできているものと考えています。

しかし、なお課題もあります。施設設備の計画的な改修・更新、あるいは建物の構造や利用者の状態により必要となる加配職員に係る費用の確保など、これらについては今後も県との協議を継続していく必要があります。

「自立」は経常収支の面からのみ判断できないことは当然です。当事業団には40年余にわたり施設運営を中心にして積み上げてきた関係者からの信頼と期待があります。現下の厳しい状況にあってもこれらを損なうことなく、利用者本位のより良い福祉サービスを提供し続けることにより、経営収支の均衡と合わせて「真の自立経営」を確立していくことを願っています。全役職員が協力して、一丸となつて努力して行きましょ

相談支援センターさくらでは、北上市から委託を受け、相談支援事業と併せ、地域で暮らす精神障がいを持つ方を対象とした生活訓練事業を週に2回実施しています。

この事業は、退院したばかりの方や、他の人と接することが少なく生活の幅を広げにくくなっている方などに、日常生活上必要な訓練を行い、生活の質的向上を図るために行う集団活動です。利用者と話し合いながら内容を決め、スポーツ・創作活動・S.S.T(※注)など様々な活動を行っています。参加日数や時間でこ本人の体調によって調整しやすく、レクリエーション的内容が活動の中心になつてるので、一定時間の作業をする自信がない方、今の生活を少しずつ変えていきたい方にとって利用しやすい場所になつています。また、他の方との出会いいや交流の場、生活の一部として出かける場、次のステップをゆっくり考え準備する場など、多様な意味を持つ場になっています。

「退院して、さくらに来られるようになつて良かつた。いつかは福祉の施設で自分でお金を稼げるようになれたらいな」と、思っています。



相談支援センターさくら

シリーズ 壱・清呻章が小者への支愛

その
1

始めた〇さんは、「最近あつたうれしいこと」に、こんな思いを話してくれました。生活訓練に積極的に参加する中で新たな仲間と出会い、また自分自身の新たな可能性を見出しながら、毎日を過ごしています。

活動を通して生まれる様々な興味を、「自分はこんな事ができる」「こんなことをやってみたい」という自信や意欲につなげ、その中で、利用者自身が主役となり、中心となって活動を作り上げ、広げられるような支援ができるよう今後も努力してまいります。

心も身体もほぐしましょうね

「回覧板に私の名前がないのよーアパート追い出されるんじやないかしら?」ある日のAさんの電話です。班長さんの単純ミスだと話をすると安心して電話を切りました。

Aさんは好地荘を1年前に出て、地域生活を送っている方です。着実に定着していると思っていましたが、やはり緊張の中にあつたのだと感じました。統合失調症(※注1)と解離性健忘(※注2)で過去の記憶がないため、家族は誰もおらず戸籍も分かりません。地域に移行した今も、古着を売る専門店を好地荘と共にこ

始めたOさんは、「最近あつたうれしい

趣味はDVDで古い映画を見ることです

魚は水に、鳥は空に、人は社会に

この方々それぞれの細やかな求めに応じたい、でも既存の福祉サービスではなく地荘のアフターケアとして、訪問や同行支援を行っています。皆さんがあくまでも暮らす姿に感動しつつ！

（好地莊 生活指導員 與羽州子）

9。 Bさんは、対人関係が苦手な回避性統合失調質人格障がい(※注3)です。好地荘からアパートに移行して10カ月。人ごみを避け、早朝6時に24時間営業のスキーへ行き食料を調達するそうです。7年前はお金をパチンコで使い果たし、生活が破綻しましたが、「今の生活を維持するために絶対にパチンコはしない」と言いま

監理事長
理事事務局長
事
千葉勝弘夫（新）
小田島峰雄
石田豊夫
鏡田勝
菊池敏夫
菖原貞子
千葉茂夫
中野信一郎
細田重良
青山清一郎
千葉憲夫
千葉寬子
原樹夫
池茂夫
原信夫
葉重良
葉憲夫
葉山清夫
葉良一郎
葉憲夫
葉弘夫
葉勝弘夫
葉（新）

大久保 小野寺 大森 紀代美 文直
刈谷 谷田 久保田 佐藤 藤谷 仁博 忠子
刈久 保田 佐藤 藤谷 仁博 忠子
大森 紀代美 文直

役員・評議員の紹介

※(新)はこのたび新しく改選された理事監事及び評議員です。

岩手県社会福祉事業団

基本理念·基本方針

私たち岩手県社会福祉事業団は、利用者の人間としての尊厳を尊重し、利用者本位の質の高いサービスを提供するとともに、その人らしい生き方ができる地域社会の実現に積極的に寄与します。

[基本方針]

- 1 利用者が安心できる利用者本位のサービス提供に努めます。
 - 2 地域福祉の拠点として、地域の多様なニーズに即応した先駆性のある取り組み並びに地域生活移行を推進します。
 - 3 県立療育センターなど指定管理施設等の運営の充実を図ります。
 - 4 自立的、自主的な法人経営及び施設運営の確立を目指します。
 - 5 職員の資質の向上と適正な事務事業を推進します。

平成21年度岩手県社会福祉事業団

決算報告

資金収支計算書

(自) 平成21年 4月 1日 (至) 平成22年 3月31日

法人名 岩手県社会福祉事業団

施設名

事業グループ【1018: 法人全体(療育特別除き)】		
期初残高	期中変動額	期末残高
就労支援事業収入 就労支援事業収入計(1)	-37,075,000	37,093,327
就労支援事業支出 就労支援事業支出計(2)	38,519,000	37,114,611
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	-1,444,000	1,422,716
会計単位間繰入金収入 経理区分間繰入金収入	2,058,000	2,057,684
措置費収入 私的利用料収入	482,000	428,000
介護保険収入 自立支援収入	754,807,000	755,385,476
補助事業収入 その他の利用料収入	4,731,000	4,629,625
受託事業収入 負担金収入	2,273,000	2,269,268
経常経費補助金収入 寄附金収入	2,317,13,000	2,328,433,846
雑収入 受取利息配当金収入	143,917,000	142,096,763
福利事業収入計(4)	413,746,000	406,303,862
会計単位間繰入金支出 経理区分間繰入金支出	7,922,000	8,001,231
人件費支出 事務費支出	647,456,000	620,204,627
事業費支出 福利事業収支差額(5)	636,002,000	618,347,582
福利事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	153,588,000	201,335,622
施設整備等収入 施設整備等収入計(7)	3,232,000	3,230,680
固定資産取得支出 施設整備等支出計(8)	52,709,000	51,642,005
施設整備等支出計(8)	52,709,000	51,642,005
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-49,477,000	-48,411,325
積立預金取崩収入 その他の収入	10,149,000	9,495,000
財務収入計(10)	26,161,000	26,278,880
その他の支出	36,310,000	35,773,880
財務支出計(11)	43,123,000	42,770,450
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	-6,813,000	-6,996,570
予備費(13)	19,000,000	
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	76,854,000	145,906,443
前期末支払資金残高(15)	556,531,000	556,531,111
当期末支払資金残高(14)+(15)	633,385,000	702,437,554
前期末支払資金残高(15)	556,531,000	111
当期末支払資金残高(14)+(15)	633,385,000	69,052,654

事業活動収支計算書

(自) 平成21年 4月 1日 (至) 平成22年 3月31日

法人名 岩手県社会福祉事業団

施設名

事業グループ【1018: 法人全体(療育特別除き)】		
期初残高	期中変動額	期末残高
就労支援事業収入 就労支援事業収入計(1)	222,258,822	31,873,969
就労支援事業支出 就労支援事業支出計(2)	106,863,783	33,637,069
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	3,606,390	3,256,783
就労支援事業収入 就労支援事業支出	6,198,825	
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	338,927,820	0
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	338,927,820	0
就労支援事業収入 就労支援事業支出	19,321,219	16,885,091
就労支援事業収入 就労支援事業支出	10,030	10,190
就労支援事業収入 就労支援事業支出	16,884,931	-16,884,931
就労支援事業収入 就労支援事業支出	271,160	16,030
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,665,717	16,418,953
就労支援事業収入 就労支援事業支出	70,004	70,004
就労支援事業収入 就労支援事業支出	771,237	278,650
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	37,768,177	33,582,694
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	-674,325	254,375
就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	37,768,177	4,185,483
就労支援事業収入 就労支援事業支出	755,385,476	438,947,506
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,511,375	316,370,970
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,269,268	1,145,600
就労支援事業収入 就労支援事業支出	1,988,329,144	330,044,702
就労支援事業収入 就労支援事業支出	142,096,763	143,613,494
就労支援事業収入 就労支援事業支出	9,754,590	-9,754,590
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,367,888	7,134,029
就労支援事業収入 就労支援事業支出	466,303,892	10,233,888
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,001,231	-305,860,235
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,146,577	-145,346
就労支援事業収入 就労支援事業支出	620,204,627	-295,966,250
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,273,400	2,016,960
就労支援事業収入 就労支援事業支出	45,097,981	46,852,624
就労支援事業収入 就労支援事業支出	136,829,323	-3,744,643
就労支援事業収入 就労支援事業支出	21,032,216	109,197,107
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,460,893,290	4,309,019,000
就労支援事業収入 就労支援事業支出	151,874,200	
就労支援事業収入 就労支援事業支出	755,385,476	438,947,506
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,511,375	316,370,970
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,269,268	1,145,600
就労支援事業収入 就労支援事業支出	1,988,329,144	330,044,702
就労支援事業収入 就労支援事業支出	142,096,763	143,613,494
就労支援事業収入 就労支援事業支出	9,754,590	-9,754,590
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,367,888	7,134,029
就労支援事業収入 就労支援事業支出	466,303,892	10,233,888
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,001,231	-305,860,235
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,146,577	-145,346
就労支援事業収入 就労支援事業支出	620,204,627	-295,966,250
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,273,400	2,016,960
就労支援事業収入 就労支援事業支出	45,097,981	46,852,624
就労支援事業収入 就労支援事業支出	136,829,323	-3,744,643
就労支援事業収入 就労支援事業支出	21,032,216	109,197,107
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,460,893,290	4,309,019,000
就労支援事業収入 就労支援事業支出	151,874,200	
就労支援事業収入 就労支援事業支出	755,385,476	438,947,506
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,511,375	316,370,970
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,269,268	1,145,600
就労支援事業収入 就労支援事業支出	1,988,329,144	330,044,702
就労支援事業収入 就労支援事業支出	142,096,763	143,613,494
就労支援事業収入 就労支援事業支出	9,754,590	-9,754,590
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,367,888	7,134,029
就労支援事業収入 就労支援事業支出	466,303,892	10,233,888
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,001,231	-305,860,235
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,146,577	-145,346
就労支援事業収入 就労支援事業支出	620,204,627	-295,966,250
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,273,400	2,016,960
就労支援事業収入 就労支援事業支出	45,097,981	46,852,624
就労支援事業収入 就労支援事業支出	136,829,323	-3,744,643
就労支援事業収入 就労支援事業支出	21,032,216	109,197,107
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,460,893,290	4,309,019,000
就労支援事業収入 就労支援事業支出	151,874,200	
就労支援事業収入 就労支援事業支出	755,385,476	438,947,506
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,511,375	316,370,970
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,269,268	1,145,600
就労支援事業収入 就労支援事業支出	1,988,329,144	330,044,702
就労支援事業収入 就労支援事業支出	142,096,763	143,613,494
就労支援事業収入 就労支援事業支出	9,754,590	-9,754,590
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,367,888	7,134,029
就労支援事業収入 就労支援事業支出	466,303,892	10,233,888
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,001,231	-305,860,235
就労支援事業収入 就労支援事業支出	8,146,577	-145,346
就労支援事業収入 就労支援事業支出	620,204,627	-295,966,250
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,273,400	2,016,960
就労支援事業収入 就労支援事業支出	45,097,981	46,852,624
就労支援事業収入 就労支援事業支出	136,829,323	-3,744,643
就労支援事業収入 就労支援事業支出	21,032,216	109,197,107
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,460,893,290	4,309,019,000
就労支援事業収入 就労支援事業支出	151,874,200	
就労支援事業収入 就労支援事業支出	755,385,476	438,947,506
就労支援事業収入 就労支援事業支出	4,511,375	316,370,970
就労支援事業収入 就労支援事業支出	2,269,268	1,145,600
就労支援事業収入 就労支援事業支出	1,988,329,144	330,044,702
就労支援事業収入 就労支援事業支出	142,096,763	143,613,494
就労支援事業収入 就労支援事業支出	9,754,590	-9,754,590
就労支援事業収入 就労支援事業支出	17,367,888	7,134,029
就労支援事業収入 就労		

